



上小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <https://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL:048-644-6251

教育目標
◎心豊かな子
◎進んで学ぶ子
◎健康な子



地域の力に

ピオトープの木々

校長 大島 恵美

今年の夏の暑さの影響か、校庭の木々の紅葉が例年より遅く感じられます。ようやく教室から眺める景色にも、秋の深まりを感じるようになりました。

子どもたちに「好きな教科は何ですか?」と尋ねると、「体育」や「図工」と答える子がとても多く、本校の子どもたちは体を動かしたり、体験的な活動ができたりする教科を好む傾向があるようです。高学年では「家庭科」を楽しみにしている児童も多くいます。家庭科は高学年になって初めて学ぶ教科であり、自分で調理したものを「食べる」ことができる唯一の教科であることも、人気の理由の一つでしょう。

家庭科は、1947年に「民主的な家庭建設」を目指して、小学校と高校で新設されました。中学校では「職業・家庭」などを経て、現在の「技術・家庭」となっています。小学校では当初から5・6年生の男女が一緒に学んでいますが、中学校は1993年から、高校は1994年から男女共修となりました。それまでは男女別の教科だったのです。

家庭科と聞くと「調理」や「裁縫」を思い浮かべる方が多いかもしれません、実際には衣食住に関する幅広い内容を学びます。時代の変化に伴い、最近では男女が協力して家庭を築くことの意義や、福祉、環境問題、消費者教育なども重視され、指導内容がさらに広がっています。まさに、日々の生活と直結している教科といえます。

その学習内容の中には、「家庭や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること」があります。身近な生活の中から地域で共に生活している幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて問題を見出したり、課題を解決する方法を考えたりする学習です。

先日行われた「避難所運営訓練」では、有事の際に本校で避難所を設営する際、学校施設をどのように活用するかを考え、体育館に間仕切りをして居住スペースの広さを確認したり、仮設トイレの設営など、皆さんが熱心に取り組んでくださいました。また、本校や三橋小学校で行われた地域の運動会では、子どもたちも楽しめるようにと、多くの競技やお土産が用意され、地域の多くの方々が協力して運営している姿がありました。特に本校の地区運動会では、小学生だけでなく中学生も参加しており、地域を支える意識が高まっていることを感じました。

小学生であっても、地域を担う小さな「社会人」です。ルールやマナーを守ることや、地域の行事に参加するなど、できることはたくさんあります。今年度の全国学力・学習状況調査では、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に89.2%の児童が肯定的に回答していました。これからも地域での催し物などがあると思います。ぜひ積極的に参加し、自分たちが住んでいる地域を大切に考える機会にしてほしいと思います。